様式第二号の八（第八条の四の五関係）

（第１面）

産業廃棄物処理計画書

令和　6年　6月　7日

千葉県知事　熊谷　俊人　殿

提出者
住　所　千葉県船橋市習志野４丁目16番12号
氏　名　朋和産業株式会社
代表取締役　小澤　善孝
（法人にあっては、名称及び代表者の氏名）
電話番号　０４７－４５６－５０１１

廃棄物の処理及び清掃に関する法律第 12 条第９項の規定に基づき、産業廃棄物の減量その他その処理に関する計画を作成したので、提出します。

事業場の名称	朋和産業株式会社　干潟工場
事業場の所在地	千葉県旭市さくら台１番４号
計画期間	令和　6年　4月　1日　から　令和　7年　3月　31日

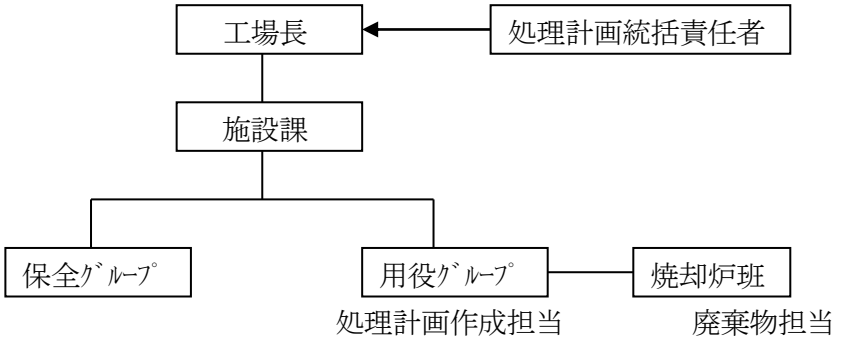
当該事業場において現に行っている事業に関する事項

①事業の種類	大分類：製造業　　中分類：印刷・同関連業
②事業の規模	前年度の製造品出荷額　　２７６億円
③従業員数	６１５人（正社員　３５３人、常勤関係職員　２６２人）
④産業廃棄物の一連の処理の工程	別紙１参照

（日本工業規格　A列４番）

産業廃棄物の処理に係る管理体制に関する事項

（管理体制図）



産業廃棄物の排出の抑制に関する事項

① 現状	【前年度（　令和5年度）実績】		
	産業廃棄物の種類	廃ﾌﾟﾗｽﾁｯｸ類	木くず
	排　　出　　量	6077.1ｔ	49.2ｔ
	（これまでに実施した取組） 製造工程ごとに毎日排出量を測定し、月の排出結果を社内掲示し、社員全員の意識向上を図っている。		
②計画	【目標】		
	産業廃棄物の種類	廃ﾌﾟﾗｽﾁｯｸ類	木くず
	排　　出　　量	6700.0ｔ	50.0ｔ
	（今後実施する予定の取組） 製造工程の歩留まり率を向上させ、廃棄物の排出量削減を図る。 新規有償物引取り業者開拓。有償物引取り量を増やし排出制御を図る。		

産業廃棄物の分別に関する事項

①現状	（分別している産業廃棄物の種類及び分別に関する取組） 廃ﾌﾟﾗｽｯﾁｸ類：廃棄処理と有償物のｹﾞｰｼﾞを分けて設置し分別を行いさらに自己処理可能物の分別を行っている。
②計画	（今後分別する予定の産業廃棄物の種類及び分別に関する取組） 廃ﾌﾟﾗｽﾁｯｸ類：廃棄処理物から新たに有償物へ転換できよう分別をさらに強化する。

（第３面）

<table>
<tr><td colspan="4">自ら行う産業廃棄物の再生利用に関する事項</td></tr>
<tr><td rowspan="5">① 現状</td><td colspan="3">【前年度（　　令和5年度）実績】</td></tr>
<tr><td>産業廃棄物の種類</td><td>廃ﾌﾟﾗｽﾁｯｸ類</td><td>木くず</td></tr>
<tr><td>自ら再生利用を行った
産業廃棄物の量</td><td>0ｔ</td><td>0ｔ</td></tr>
<tr><td colspan="3">（これまでに実施した取組）</td></tr>
<tr><td colspan="3"></td></tr>
<tr><td rowspan="5">②計画</td><td colspan="3">【目標】</td></tr>
<tr><td>産業廃棄物の種類</td><td>廃ﾌﾟﾗｽﾁｯｸ類</td><td>木くず</td></tr>
<tr><td>自ら再生利用を行う
産業廃棄物の量</td><td>0ｔ</td><td>0ｔ</td></tr>
<tr><td colspan="3">（今後実施する予定の取組）</td></tr>
<tr><td colspan="3"></td></tr>
<tr><td colspan="4">自ら行う産業廃棄物の中間処理に関する事項</td></tr>
<tr><td rowspan="5">① 現状</td><td colspan="3">【前年度（　　令和5年度）実績】</td></tr>
<tr><td>産業廃棄物の種類</td><td>廃ﾌﾟﾗｽﾁｯｸ類</td><td>木くず</td></tr>
<tr><td>自ら熱回収を行った
産業廃棄物の量</td><td>3208.3ｔ</td><td>0ｔ</td></tr>
<tr><td>自ら中間処理により減量した
産業廃棄物の量</td><td>2920.7ｔ</td><td>0ｔ</td></tr>
<tr><td colspan="3">（これまでに実施した取組）
焼却炉の運転管理徹底により処理能力維持に努めた。</td></tr>
<tr><td rowspan="5">②計画</td><td colspan="3">【目標】</td></tr>
<tr><td>産業廃棄物の種類</td><td>廃ﾌﾟﾗｽｯﾁｸ類</td><td>木くず</td></tr>
<tr><td>自ら熱回収を行う
産業廃棄物の量</td><td>3100.0ｔ</td><td>0ｔ</td></tr>
<tr><td>自ら中間処理により減量する
産業廃棄物の量</td><td>2800.0ｔ</td><td>0ｔ</td></tr>
<tr><td colspan="3">（今後実施する予定の取組）
処理能力維持を継続し、運転時間の見直しをし自己処理量の増量を図る。</td></tr>
</table>

<table>
<tr><td colspan="4">自ら行う産業廃棄物の埋立処分又は海洋投入処分に関する事項</td></tr>
<tr><td rowspan="4">① 現状</td><td colspan="3">【前年度（　　令和5年度）実績】</td></tr>
<tr><td>産業廃棄物の種類</td><td>廃ﾌﾟﾗｽﾁｯｸ類</td><td>木くず</td></tr>
<tr><td>自ら埋立処分又は
海洋投入処分を行った
産業廃棄物の量</td><td>0ｔ</td><td>0ｔ</td></tr>
<tr><td colspan="3">（これまでに実施した取組）</td></tr>
<tr><td rowspan="4">②計画</td><td colspan="3">【目標】</td></tr>
<tr><td>産業廃棄物の種類</td><td>廃ﾌﾟﾗｽﾁｯｸ類</td><td>木くず</td></tr>
<tr><td>自ら埋立処分又は
海洋投入処分を行う
産業廃棄物の量</td><td>0ｔ</td><td>0ｔ</td></tr>
<tr><td colspan="3">（今後実施する予定の取組）</td></tr>
<tr><td colspan="4">産業廃棄物の処理の委託に関する事項</td></tr>
<tr><td rowspan="8">① 現状</td><td colspan="3">【前年度（　　令和5年度）実績】</td></tr>
<tr><td>産業廃棄物の種類</td><td>廃ﾌﾟﾗｽﾁｯｸ類</td><td>木くず</td></tr>
<tr><td>全処理委託量</td><td>3156.4ｔ</td><td>49.2ｔ</td></tr>
<tr><td>優良認定処理業者への
処理委託量</td><td>0ｔ</td><td>0ｔ</td></tr>
<tr><td>再生利用業者への
処理委託量</td><td>3156.4ｔ</td><td>49.2ｔ</td></tr>
<tr><td>認定熱回収業者への
処理委託量</td><td>0ｔ</td><td>0ｔ</td></tr>
<tr><td>認定熱回収業者以外の
熱回収を行う業者への
処理委託量</td><td>0ｔ</td><td>0ｔ</td></tr>
<tr><td colspan="3">（これまでに実施した取組）
処理施設の現場確認を行い、適正処理の確認をしている。</td></tr>
</table>

<table>
<tr><td rowspan="8"></td><td rowspan="8">②計画</td><td colspan="3">【目標】</td></tr>
<tr><td colspan="2">産業廃棄物の種類</td><td>廃ﾌﾟﾗｽﾁｯｸ類</td><td>木くず</td></tr>
<tr><td colspan="2">全 処 理 委 託 量</td><td>3700.0ｔ</td><td>50.0ｔ</td></tr>
<tr><td rowspan="4"></td><td>優良認定処理業者への
処 理 委 託 量</td><td>0ｔ</td><td>0ｔ</td></tr>
<tr><td>再生利用業者への
処 理 委 託 量</td><td>3700.0ｔ</td><td>50.0ｔ</td></tr>
<tr><td>認定熱回収業者への
処 理 委 託 量</td><td>0ｔ</td><td>0ｔ</td></tr>
<tr><td>認定熱回収業者以外の
熱回収を行う業者への
処 理 委 託 量</td><td>0ｔ</td><td>0ｔ</td></tr>
<tr><td colspan="3">（今後実施する予定の取組）
処理業者の適正処理確認の維持に努める。</td></tr>
<tr><td colspan="2">※事務処理欄</td><td colspan="3"></td></tr>
</table>

備考

１　前年度の産業廃棄物の発生量が1,000トン以上の事業場ごとに１枚作成すること。

２　当該年度の６月30日までに提出すること。

３　「当該事業場において現に行っている事業に関する事項」の欄は、以下に従って記入すること。

⑴①欄には、日本標準産業分類の区分を記入すること。

⑵②欄には、製造業の場合における製造品出荷額（前年度実績）、建設業の場合における元請完成工事高（前年度実績）、医療機関の場合における病床数（前年度末時点）等の業種に応じ事業規模が分かるような前年度の実績を記入すること。

⑶④欄には、当該事業場において生ずる産業廃棄物についての発生から最終処分が終了するまでの一連の処理の工程（当該処理を委託する場合は、委託の内容を含む。）を記入すること。

４　「自ら行う産業廃棄物の中間処理に関する事項」の欄には、産業廃棄物の種類ごとに、自ら中間処理を行うに際して熱回収を行った場合における熱回収を行った産業廃棄物の量と、自ら中間処理を行うことによって減量した量について、前年度の実績、目標及び取組を記入すること。

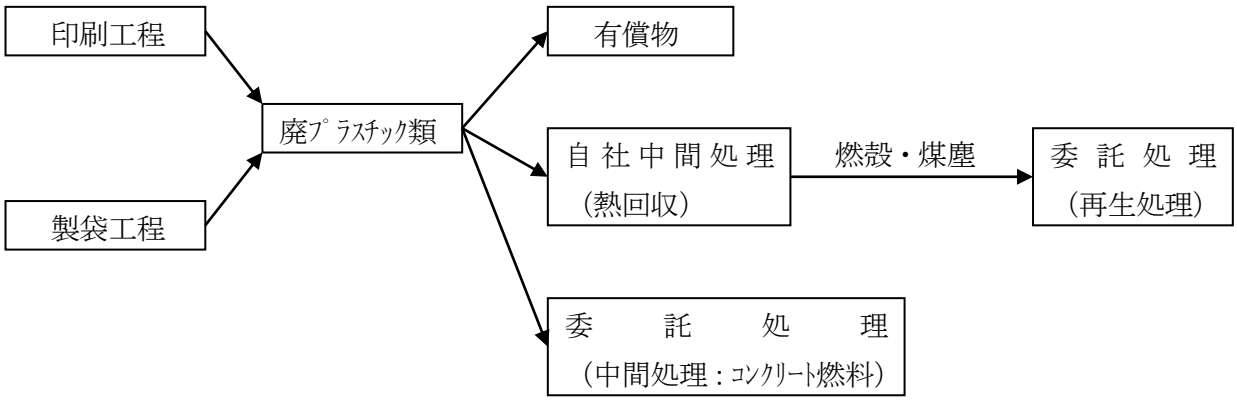
５　「産業廃棄物の処理の委託に関する事項」の欄には、産業廃棄物の種類ごとに、全処理委託量を記入するほか、その内数として、優良認定処理業者（廃棄物の処理及び清掃に関する法律施行令第６条の11第２号に該当する者）への処理委託量、処理業者への再生利用委託量、認定熱回収施設設置者（廃棄物の処理及び清掃に関する法律第15条の３の３第１項の認定を受けた者）である処理業者への焼却処理委託量及び認定熱回収施設設置者以外の熱回収を行っている処理業者への焼却処理委託量について、前年度実績、目標及び取組を記入すること。

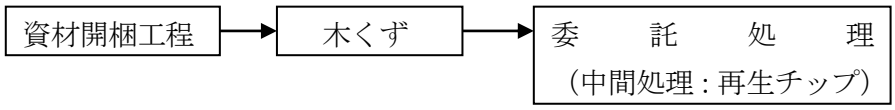
６　それぞれの欄に記入すべき事項の全てを記入することができないときは、当該欄に「別紙のとおり」と記入し、当該欄に記入すべき内容を記入した別紙を添付すること。また、産業廃棄物の種類が３以上あるときは、前年度実績及び目標の欄に「別紙のとおり」と記入し、当該欄に記入すべき内容を記入した別紙を添付すること。また、それぞれの欄に記入すべき事項がないときは、「―」を記入すること。

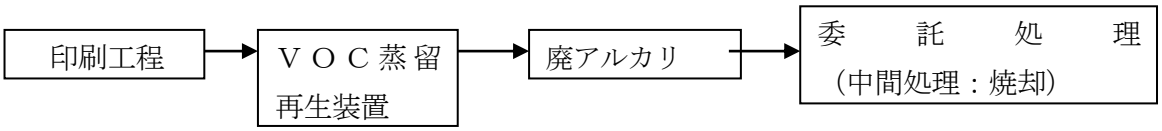
７　※欄は記入しないこと。

別紙１

産業廃棄物の一連の処理の工程







別紙

<table>
<tr><td colspan="6">産業廃棄物の排出の抑制に関する事項</td></tr>
<tr><td rowspan="6"></td><td rowspan="4">① 現状</td><td colspan="3">【前年度（　令和５年度）実績】</td><td></td><td></td></tr>
<tr><td>産業廃棄物の種類</td><td>廃アルカリ</td><td></td><td></td><td></td></tr>
<tr><td>排出量</td><td>96.7ｔ</td><td></td><td></td><td></td></tr>
<tr><td colspan="5">（これまでに実施した取組）
廃油抜出タイマー設定値を変更し、削減を実施する。</td></tr>
<tr><td rowspan="4">②計画</td><td colspan="5">【目標】</td></tr>
<tr><td>産業廃棄物の種類</td><td>廃アルカリ</td><td></td><td></td><td></td></tr>
<tr><td>排出量</td><td>100.0ｔ</td><td></td><td></td><td></td></tr>
<tr><td colspan="5">（今後実施する予定の取組）
現状維持に努める。</td></tr>
</table>

<table>
<tr><td colspan="6">自ら行う産業廃棄物の再生利用に関する事項</td></tr>
<tr><td rowspan="4"></td><td rowspan="4">① 現状</td><td colspan="4">【前年度（　令和５年度）実績】</td></tr>
<tr><td>産業廃棄物の種類</td><td>廃アルカリ</td><td></td><td></td><td></td></tr>
<tr><td>自ら再生利用を行った産業廃棄物の量</td><td>0.0ｔ</td><td></td><td></td><td></td></tr>
<tr><td colspan="5"></td></tr>
<tr><td rowspan="4"></td><td rowspan="4">②計画</td><td colspan="4">【目標】</td></tr>
<tr><td>産業廃棄物の種類</td><td>廃アルカリ</td><td></td><td></td><td></td></tr>
<tr><td>自ら再生利用を行う産業廃棄物の量</td><td>0.0ｔ</td><td></td><td></td><td></td></tr>
<tr><td colspan="5">（今後実施する予定の取組）</td></tr>
</table>

自ら行う産業廃棄物の中間処理に関する事項					
① 現状	【前年度（　　令和５年度）実績】				
	産業廃棄物の種類	廃アルカリ			
	自ら熱回収を行った産業廃棄物の量	0.0ｔ			
	自ら中間処理により減量した産業廃棄物の量	0.0ｔ			
	（これまでに実施した取組）				
②計画	【目標】				
	産業廃棄物の種類	廃アルカリ			
	自ら熱回収を行う産業廃棄物の量	0.0ｔ			
	自ら中間処理により減量する産業廃棄物の量	0.0ｔ			
	（今後実施する予定の取組）				

<table>
<tr><td colspan="6">自ら行う産業廃棄物の埋立処分又は海洋投入処分に関する事項</td></tr>
<tr><td rowspan="4">① 現状</td><td colspan="5">【前年度（　　令和５年度）実績】</td></tr>
<tr><td>産業廃棄物の種類</td><td>廃アルカリ</td><td></td><td></td><td></td></tr>
<tr><td>自ら埋立処分又は
海洋投入処分を行った
産業廃棄物の量</td><td>0.0ｔ</td><td></td><td></td><td></td></tr>
<tr><td colspan="5">（これまでに実施した取組）</td></tr>
<tr><td rowspan="4">②計画</td><td colspan="5">【目標】</td></tr>
<tr><td>産業廃棄物の種類</td><td>廃アルカリ</td><td></td><td></td><td></td></tr>
<tr><td>自ら埋立処分又は
海洋投入処分を行う
産業廃棄物の量</td><td>0.0ｔ</td><td></td><td></td><td></td></tr>
<tr><td colspan="5">（今後実施する予定の取組）</td></tr>
</table>

産業廃棄物の処理の委託に関する事項

① 現状	【前年度（　　令和５年度）実績】				
	産業廃棄物の種類	廃アルカリ			
	全処理委託量	96.7ｔ			
	優良認定処理業者への処理委託量	―	―	―	―
	再生利用業者への処理委託量	96.7ｔ			
	認定熱回収業者への処理委託量	―	―	―	―
	認定熱回収業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量	0.0ｔ			
	（これまでに実施した取組） 適正処理の確認。				

	②計画	【目標】				
		産業廃棄物の種類	廃アルカリ			
		全処理委託量	100.0ｔ			
		優良認定処理業者への処理委託量	0.0ｔ			
		再生利用業者への処理委託量	100.0ｔ			
		認定熱回収業者への処理委託量	0.0ｔ			
		認定熱回収業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量	0.0ｔ			
		（今後実施する予定の取組） 現状維持に努める。				